

資料編

資料1 高浜市環境対策協議会 委員名簿

(任期 令和5年7月1日～令和7年6月30日)

区 分	番号	氏 名	備 考
市民	1	磯貝 恵一	
	2	井上 琴代	
	3	尾崎 稔彦	
	4	川角 由美子	
環境に関し 学識経験を 有する者	5	内田 真輔	名古屋市立大学経済学部 教授
	6	石川 千昌	愛知県地球温暖化防止推進委員
産業及び経済 に関し学識 経験を有する者	7	武田 大吾	中部電力パワーグリッド株式会社 刈谷営業所 所長
	8	片岡 明博	東邦ガス株式会社 三河地域支配人
	9	吉兼 章生	株式会社豊田自動織機 高浜工場 トヨタ L&F カンパニー 安全・総務部 主査
	10	小木曾 敦	株式会社屋根技術研究所
	11	杉浦 久仁子	高浜市商工会 女性部 部長
関係行政機関の 職員	12	棚橋 勝樹	県西三河県民事務所 環境保全課長
	13	天野 克則	県西三河県民事務所 廃棄物対策課長
	14	田中 秀彦	衣浦衛生組合 業務課長

◎ : 会長 ○ : 副会長

事務局 市民部経済環境グループ

資料2 計画策定の経緯

時 期		内 容
2023年 (令和5年)	7月31日	高浜市環境対策協議会【第1回】
	8月31日	高浜市環境対策協議会【第2回】
	9月26日～ 10月13日	市民向けアンケート、事業者向けアンケート実施
	10月31日	高浜市環境対策協議会【第3回】
	11月20日～ 11月30日	小学生向けアンケート実施
	11月27日	高浜市環境対策協議会【第4回】
2024年 (令和6年)	2月1日	高浜市環境対策協議会【第5回】
	2月13日～ 2月27日	高浜市環境基本計画(案)に係るパブリックコメント実施
	3月4日	高浜市環境対策協議会【第6回】
	3月11日	高浜市環境基本計画の市長報告

資料3 高浜市環境対策協議会 委員からのメッセージ

会長 内田 真輔 委員

温暖化に代表される地球環境問題を解決し、持続可能な社会を形作るには、地球環境に対する私たち一人ひとりの理解と協力が不可欠です。因果応報、情けは人のためならず。地球を守る行動は、巡り巡って私たちの生活を豊かにし、より良い未来へとつながっていきます。高浜市の未来も地球と共にあります。地球と共存するための術を一緒に考え、行動に移していきましょう。

副会長 尾崎 稔彦 委員

持続可能な未来を築くために私たちは環境保全とカーボンニュートラルの両方に取り組む必要があります。環境対策は私たち一人ひとりの行動から始まります。渡し場かもめ会は、毎月一度の海岸清掃で5mm以下のマイクロプラスチックの粒を拾っています。一方で、マイクロプラスチックになる前にプラスチックごみを拾うことは海洋生物への被害を抑え、海洋環境を保護する一助となります。未来の世代に良い環境を残しましょう。

天野 克則 委員

地球温暖化対策や生物多様性保全、資源循環など相互に関連する課題が我々の生活に影響を及ぼしています。環境は社会、経済の基礎を成すものであるとともに、相互に密接に関連しています。環境への取り組みによって、将来世代に向けた持続可能な社会を形成していきましょう。

石川 千昌 委員

子どもたちに地球の住み心地のよい環境を、少しでも残して行くことができたらと思います。けれども、環境に関する情報は日々変化していき、何が最善なのか、迷うことも多くあります。調べ、情報を集め、学んで考えて、実践して、伝えて…託す前にそんな姿を子ども達に見てもらいたいと思います。そして、元気に外を走り回れるように、自然の豊かさを感じられるように、今、自分ができることをやっていきたいと思います。

磯貝 恵一 委員

最近は猛暑、暖冬、集中豪雨や台風が多発等の異常気象で、本当に生活し難いですね。そんな環境も変える為の地球温暖化対策も織り込んだ計画が出来ました。この計画は今の世代だけでなく、子や孫等の次世代の人々も含めた永続的に住みやすい街づくりを目指しています。

小さなことでもひとつひとつの積み重ねが街を地球を変えていきます。出来ることから少しずつ始めましょう。それが高浜の未来へ繋がります。

井上 琴代 委員

我が家では学校のプリント類・問題用紙などが毎日ゴミ箱に捨てられていました。委員会でその話をしたところ、雑紙・布類は可燃ゴミの40%をしめていること、雑紙は新聞紙等の紙類に挟み資源ゴミとして出すことができることを教えていただきました。

その事が、市民の皆さまに周知されていないのでは？とお話し、皆さまに雑紙を簡単に分別していただけるよう『雑紙分別事典』を作ることになりました。皆さまが少しでも雑紙を資源として認識して下さると嬉しいです。我が家でも、子供たちにこの『事典』を見て、しっかりと雑紙を分別してもらおうと思っています。

小木曾 敦 委員

自然環境やゴミ問題について考えるとき、「私にできることは小さなことしかない（だから環境問題は私には解決できない）」と言う人がいます。かつては自分もそう思っていました。でも最近、それは違うのではないかと考えています。たった1個のゴミを拾うこと。これって実は「些細なこと」ではなく、問題解決に対するとても大きなアクションなんじゃないかな、とも。この「環境基本計画」を通じて、そう思える人が増えるといいなと思います。

片岡 明博 委員

環境に思いをはせる時、計画立案は鳥の目で考え、実行段階では虫の目で行動することが重要だと思います。是非、市民の皆様は、この計画を自分ごととして捉えていただき、今日から、虫の目線で行動していただきたいと思います。

川角 由美子 委員

90ページの環境基本計画書は、委員として読むだけでも大変です。それに加え、ごみ処理基本計画などの詳細資料も沢山のページ数で出来ています。

今まで、環境といえばゴミやエコバックなどの知識しかなく、余り関心がありませんでしたが、会議を通して、市民＝事業者＝行政が一体となり、それぞれの役割を推進させることが必要であると学びました。

・・・一人ひとりの小さなことの積み重ね・・・を実現しましょう。

杉浦 久仁子 委員

地球の未来を見据え、カーボンニュートラルに向け環境について学び考え、省エネ・再生エネルギーの普及、導入・ゴミ問題等を一人ひとりが自分にできる事を意識し行動する大切さを学んでいきましょう。

武田 大吾 委員

私たちは、持続可能な未来のために環境保護に取り組んでいく必要があります。市民のみなさん、事業者、行政と協力し合い、省エネ活動や再生可能エネルギーの導入・活用、廃棄物の適切な処理など、環境に配慮した行動を共に進めましょう。みなさん一人ひとりの日常の行動が大きな変化を生み出します。

美しく、住みよい高浜市を次世代につなぐために、みなさんご協力をお願いします。一緒に未来の環境を守りましょう！

田中 秀彦 委員

限りある資源。
未来に残すため、ひとりひとりが小さなことから始めよう。

棚橋 勝樹 委員

現在の地球環境は、気候変動問題、生物多様性の確保、プラスチックを始めとした資源循環対策、化学物質や大気・水・土壌環境の安全確保といった課題がたくさんあります。このような危機的状況に対応し、持続可能な社会の形成を目指すため、これからの高浜市の環境施策がこの計画に示されています。これらを実現するためには、市民や事業者等のみなさまの参加と協力が不可欠です。みなさまの持続可能な行動を、お願いいたします。

吉兼 章生 委員

地球全体に影響がおよぶ大きな環境問題に対して、活動に取り組む意欲はあるものの、その効果がすぐには現れず、やらなくなることも多いと思います。先人たちにより形成されてきた、日本の道德感、当たり前と感じる日常生活が環境活動にも通じているものも多いと思います。

環境基本計画には、各々ができることが記載されています。日常生活に取り入れるところから活動を始めていきましょう。

資料4 アンケート自由意見

アンケート結果は本編（p.20～）に掲載し、資料編では自由意見のみ掲載します。

1. 市民向けアンケート結果（本編 p.20～）

【1. あなたの環境問題への関心、知識について】 本編 p.21

環境問題のうち、あなたはどんな問題に関心がありますか。該当するものを次の項目から全て選んでつけてください。

（関心のある環境問題）

- ・ クリーンエネルギー 太陽光
- ・ 企業も個人も環境に対する倫理感の高まりを期待する。
- ・ アンケート結果を市 HP で公表してください
- ・ 高浜市の環境は、50 年前、40、30、20、10 年前とかなり良くなったと思います。現在は住み良い市になったと感じます。
- ・ 高浜市には山らしい山がありません。山に替わるみどりを大切にして欲しい
- ・ 住民のモラル。ゴミのポイ捨て増加
- ・ 野良猫、ペットのフン
- ・ 稗田川散歩道に不法投棄、たとえばタバコの吸い殻、ペットボトル等が気になります。以前 2、3 年前よりは少なくなりましたが、まだ投棄される方が見える様で残念です。

など

【2 . 高浜市の環境等について】 本編 p.22

高浜市の今の環境や、普段生活されている環境について、10 年前と比較してどうなったと感じていますか。次に示す項目について、それぞれ、～ の選択肢から一番近いと考えるものを選んで をつけてください。

< 選択肢 >

当てはまる やや当てはまる やや当てはまらない 当てはまらない

(高浜市の環境でよい (よくなった)、悪い (悪くなった) と感じているところ)

- ・ 下水道が整備されてきて、臭いが減ってきた。スーパーや食べ物店が増えて活気が出てきた。
- ・ 吉浜駅周辺のポイ捨てが多い。
- ・ なんかつみたいな亜熱帯植物が、ココ5年くらいで増えた。
- ・ あまり変わっていない。
- ・ 国道の4車線化や衣浦大橋のオーバークリッジなど幹線道路の整備が進んだのは朝夕の渋滞緩和が減り良くなったと思いますが相変わらず住宅街の細い道路をかなりのスピードで通り抜けて行く車は減ってないかと思います。高齢者の歩行者も多いので危険です。
- ・ あまり変化なし
- ・ 一般ゴミの出し方が悪くなった。
- ・ 公園の遊具、トイレが汚すぎ。
- ・ 公園の雑草が10cm以上生えてそのままになっている。
- ・ 稗田川の堤防周辺、緑地や公園など整備されて景観が良くなった。
- ・ 道路沿いのお花はとても綺麗で、定期的に手入れされてて、歩いてても気持ちがいいです。ただ、公園の雑草は伸び放題なので、そこは何とかして欲しいです。
- ・ ゴミのポイ捨てや路上喫煙が多い。
- ・ コロナ後から川の水が汚くなったり、ゴミなどが道端に捨てられている光景をよく目にするようになりました。
- ・ 町内会への参加世帯が少なく、環境を含めた市民活動の停滞を感じます。
- ・ 市全体がきれいになっている。
気になる点：
まちづくり協議会と町内会との関係
町内会入会者率の低下
- ・ 6.街路樹がふえた感じはするが、一方で落ち葉や根元の雑草が目立つ様になった。落ち葉は側溝や排水溝にたまり、8-2 道路冠水につながる。
- ・ 実際に対策を行っているのかが実感できない。
- ・ 10年前の比較はよく分かりませんが、数十年前と比べると環境は格段に良くなっています。
- ・ 各町内においてゴミの分類を進めており、環境が良くなったと思う。
問題として、海外の人が多くなり、ゴミの分類方法を指導出来たら更に良くなると思う。
人の環境 (特に気になる) : 中学生の通学路、自分達の道と考えておるのか? 中央をみんなで (5~6人) 歩いており、車が来ても知らないふりをする。事故があれば車側が悪いとなる→各中学校の指導が必要
- ・ 自宅の裏 用水路付近草刈り、年に2回定期的に行ってやってほしい。20年以上住んでいても何も変わらず、用水路にフタする予定がなければ定期的に草刈りして下さい。この調査をきっかけにお願いします。

- ・ 豪雨時、水門を閉めるらしいが、かえって川の増水につながり、よくないと思う。
- ・ 道路沿いの雑草が伸びていたり、樹木の枝が伸びていたり。長期的にその状況が続いていて見た目がよくありません。
- ・ 春日神社（大山公園）の池がきたない。トイレ（市内の公共トイレ）がすごく汚い。子供入れませんよ。
- ・ 人が増加し、自然はなくなり、ゴミが増えた。またモラルも悪くなり最悪。見た目の景観より、中身が悪くなっている。
- ・ 狭い道路にごみ捨て場が設置されており、車や歩行者の通行に支障をきたしていたが、ごみ捨て場が移動し交通が良くなった。
街路樹や学校から生えている樹木が大きくなりすぎて交通標識が見えにくい場所などがある。緑の整備がもう少し良くなることを望む。
- ・ 地域のボランティアの方の活動で、稗田川、大山公園等が利用しやすくなり安心安全を感じるようになった。感謝しています。
- ・ 私の家周辺で工事のある時は騒音が気になりました。（工事のない時は騒音は無いです）
- ・ 公園の遊具が減ってしまった。
冠水がこわい。対策をしてほしい。
- ・ 稗田川沿いの彼岸花がきれいになった。
水害対策をしてくれて、冠水などが減った。
- ・ 災害時の避難所、水害の場合、翼小だと土地の高さが低く浸水しない？と不安に思う。
- ・ 論地町のファミリーマートの近くが大雨になると冠水するのが多くなった。
- ・ 住みやすさはある。
（理由として）買い物近くがあり、交通の便が良いこと
- ・ 良くなったと感じていることは、こういったアンケートで意識対応しようと対策を取っている点。
悪くなったと感じていることは3つで、1つは河川のごみが増えたと思う点。2つ目は渋滞の影響でCO₂が増えた点。3つ目は防災環境があまり感じない点。
- ・ 田んぼや畑のまわりにごみが多い。風で飛んできたものも多いと思います。回収するごみをカラスが穴をあけていることがまだまだ多いので、カラスにちからられない対策をお願いしたいです。

など

【3. ごみ問題解決のための行動について】 本編 p.23

ごみを減らして有効活用し、地域のごみ問題を解決するための行動として、次に示すものについて、それぞれ①～④の選択肢からあてはまるものを選んで○をつけてください。

< 選択肢 >

- ① 普段から行っている ② これから行いたい ③ 行いたいと思うが難しい ④ 行うつもりはない

(ごみを減らして有効活用し、地域のごみ問題を解決するために行っていること、工夫していること)

ごみを出さない・減らす	<ul style="list-style-type: none"> ・ なるべくものを買わない。 ・ 良いものを長く使う。 ・ 無駄なもの、同じものを買わない。 ・ ごみがたくさん出ないような商品を選ぶ。 ・ 再利用できるものを中心に購入している。 ・ 過剰包装を断る。 ・ なるべくイートインを利用し、紙やプラスチックの削減を心がけている。 ・ 不要なものはもらわない、買わない。 ・ ペットボトルや紙コップ飲料は買わず、水筒を持参する。 ・ 浄水型のウォーターサーバーを使用している。 ・ 人参、レンコンなどは皮を剥かずに料理している。 ・ 生ごみの一部を堆肥にしている。 ・ 野菜の生ごみは干してから捨てる。
再使用	<ul style="list-style-type: none"> ・ フードドライブを利用した。 ・ 修理して再利用できるか、やれることはやり、誰かが使ってもらえそうな品物はリサイクル店を利用している。
リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小さな紙片も安易に捨てずに紙ごみとして資源回収に出している。 ・ 段ボールなど分別できるものはまとめて持って行っている。回収場所の地図(市内の)があるとよい。毎週朝 7 時～7 時半の短い時間には持参できないので、細かく分けて持っていける時間帯の回収 BOX を見つけて出している。
地域清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の家の周りにごみがあれば拾っている。

など

(「行いたいと思うが難しい」または「行うつもりはない」と回答した設問に対しての理由)

全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭での廃棄物の廃却担当ではないのでやろうにもやれない。 ・ 実施内容が分かりづらい。
1. ごみの分別	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族なので、プラスチックまで分別は難しい。 ・ 不燃、資源ごみをエコハウスで毎日捨てられる様にして欲しい。
3. マイバッグの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ レジ袋を個室のゴミ袋にしているので、マイバッグを運用するメリットがない。
4. 不用品を人に譲る等、ごみにならない取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 捨てるに申し訳ない様な品(ひな人形など)がもっと手軽に欲しい人に行き渡る様な告知や機会があればよい。広報等はほとんど見ないので、他の方法で目に止まると嬉しい。 ・ 自分で修理する事が難しいし、他人の使用した物を使う事に抵抗がある。
6. 生ごみの減量、生ごみ処理機の使用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生ごみ処理機の補助金を上げてほしい。 ・ 生ごみ処理機について詳しく知らないが、メリットよりデメリットの方が大きそう。邪魔になるなど。
7. 地域の美化活動、エコハウスでの環境学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機会や時間がない。優先順位が低い。 ・ 仕事が忙しい。 ・ 子供が小さく目が離せないので、参加が難しい。子供がもう少し大きくなったら、子供にも「ごみ」についての知識を伝えたいので家族で参加したい。 ・ 平日に催しが少ない、もしくはないので参加できない。 ・ ごみの立ち当番の負担を減らしてほしい。 ・ みんなでやる、というのは自分には合わない。

など

【4. 地球温暖化防止のための行動について】 本編 p.24

二酸化炭素などの温室効果ガス排出削減、省エネルギーのための取組として、次に示すものについて、それぞれ①～④の選択肢からあてはまるものを選んで○をつけてください。

< 選択肢 >

① 普段から行っている ② これから行いたい ③ 行いたいと思うが難しい ④ 行うつもりはない

(温室効果ガス排出削減、省エネルギーのための取組として行っていること)

節電・節エネルギー 行動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏場は風呂温度を下げたり、湯はり量を減らしている。 ・ 無駄にエネルギーを使わないよう意識している。 ・ 電気をこまめに消す。 ・ 使っていない家電等はコンセントからプラグを抜いておく。
再生可能エネルギー 設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコキュート、蓄電池
生活様式の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車を運転する時は、無駄に走らない様、スタート前に目的地にまっすぐ行ける様にナビを使ったり、頭の中でルートを決める。 ・ 仕事の時間帯を変えている。 ・ なるべく朝などの明るい時間帯に行動する。 ・ 無駄なものを買わない。 ・ ごみが出ないように買い物する。

など

(「行いたいと思うが難しい」または「行うつもりはない」と回答した設問に対して、どのような状況に変わったら取り組めるか、取り組むことを検討するか)

全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭経済の状況による。 ・ 賃金が上がらなくては何もできない。 ・ 金銭的な余裕ができたなら検討したい。 ・ 環境の為には何もするつもりはない。
1 . 再生可能エネルギー設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光パネルを屋根に取り付けることは、家の強度面から考えていない。 ・ 1戸建てではないため無理。
2 . EV車、PHV車	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物でしか車に乗らない。 ・ 価格が下がるか補助金が増額すれば考える。 ・ 自身の体格がハイブリッド車に合わない。 ・ 電気自動車を充電するのに石油を沢山使用するから意味がない。 ・ エネルギーコスト的に電気自動車を選ぶ理由がない。 ・ 電気性能が向上してから。 ・ インフラ整備が進んで充実してきたら検討するかもしれない。 ・ 車をそれほど利用していない。 ・ 買い替えのタイミングでない。 ・ 趣味の合うBEV、PHVが販売開始
3 . 省エネルギー型家電製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ LED等のその他の排出補助金を出すなどして支援してほしい。
4 . 節電行動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 暑いときにエアコンの温度を上げることは難しい。 ・ 手間がかからなければ。
5 . 公共交通機関等の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事上どうしても自動車が必要のため。定年になれば公共機関の選択は可能。 ・ 足が悪いので車が必須。公共交通機関は不便。 ・ 小さな子どもがいる為、公共機関や自転車で目的地へ行くことが難しい。 ・ 公共交通機関は東京くらい便利でないと使おうとしてもできない。 ・ 自家用車を利用しないと医者、買い物が難しい。 ・ 歩いて行ける範囲は歩いているが、環境のために歩くという発想はない。 ・ 循環バスの導入、バス停の整備

など

【5. 環境に配慮した行動について】 本編 p.25

生活環境や自然環境のための行動や、自然とのふれあい活動として、次に示すものについて、それぞれ①～④の選択肢からあてはまるものを選んで○をつけてください。

< 選択肢 >

- ① 普段から行っている ② これから行いたい ③ 行いたいと思うが難しい ④ 行うつもりはない

(生活環境、自然環境のために行っていること、自然とのふれあい活動として行っていること)

家の周りの美化	<ul style="list-style-type: none"> 家の草取り 家に花や野菜などの植物を植えている。
生活様式	<ul style="list-style-type: none"> ごみのポイ捨てはしない。
自然とのふれあい	<ul style="list-style-type: none"> 子供達の経験を含めて、サイクリングしたり川で生き物探しなどしている。 家庭菜園とメダカの飼育を自宅で行い、自然の観察をしている。
地域清掃	<ul style="list-style-type: none"> 道路、公園のごみ拾い 神社の草取りに月 1 回参加している。

など

(「行いたいと思うが難しい」または「行うつもりはない」と回答した設問に対する理由)

1. 排水に調理くず等を流さない	<ul style="list-style-type: none"> やるとき意識しない。
2. エコドライブを心がけている	<ul style="list-style-type: none"> 自動車にほとんど乗らない。 アイドリングストップはバッテリーに負荷がかかる。 アイドリングストップを夏場に気にすると熱中症で倒れる。 運転中のアイドリングストップは発進のタイムラグ等煩わしさがあるので OFF にしているが、それ以外は極力エンジンストップを心がけている。
3. 地域の緑化活動、清掃活動などの自然環境保全活動に参加	<ul style="list-style-type: none"> 仕事の休みは休みたい。 平日は仕事、土日も用事が多くイベント参加が難しい。 時間帯が合わない、時間がない。 人づきあい、外出が億劫だ。
4. 家や職場の周りの草刈りやごみ拾い	<ul style="list-style-type: none"> 体的に難しい。 意味を感じない。 イベントについての情報がない。また、行きたいと思わせる活動が目立たない。
5. 地域の自然観察会など、自然とふれあうイベントに参加	<ul style="list-style-type: none"> （この項目は上記の理由と重複する内容がほとんど見られず、具体的な理由が記載されていない。）

など

【6 . 今後の高浜市の環境について】 本編 p.26

高浜市の環境が今後どうなることを望みますか。以下から最大3つまで選択して をつけてください。

(自由記入回答)

その他の回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てしやすいまち ・ モラルが守られたまち
具体的な問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 街路樹や垣根の落ち葉対策を検討してほしい。 ・ 公園のごみ、池の汚れ、雑草の対策をしてほしい。 ・ LED 街灯を増やしてほしい（暗いところ、ごみが多いところ）。 ・ 川沿いのポイ捨てができないような美化対策をしてほしい。 ・ 養鶏業の臭いが気になる。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ この様なアンケートを HP や LINE、市役所や公民館等での紙面等で行い、回答者にはごみ袋をくれる等したら、資源、税金の節約になるのでは。 ・ 町内会に加入していない人にも資源ごみ立ち当番をやってほしい。 ・ 環境は人が作る。市が作るわけではない。そのことを市民に伝えるのが市の仕事。 ・ 高浜市全員が環境美化に取り組み、美しい街、住み良い街になることを願う。

など

【7．高浜市へ期待することについて】 本編 p.27

環境に関連して、市へ期待することを、以下から最大3つまで選択して をつけてください。各設問での具体的な要望内容を記入いただける場合は、「7．その他」欄に記入してください。

(具体的な要望内容)

施設の整備等	<ul style="list-style-type: none">・ 公園の整備・ 家庭菜園場の提供・ 小さな子どもが遊べる施設
市の率先行動	<ul style="list-style-type: none">・ まず市として再生可能エネルギー、特に水素利用（導入など）に積極的に取り組んでほしい。
公共交通機関の利便性の向上	<ul style="list-style-type: none">・ 将来車が乗れなくなった時の移動手段の為に利便性を求める。
設備等への助成	<ul style="list-style-type: none">・ 太陽光発電などの設置に助成金があるといいと思う。・ 蓄電池の補助金制度がなかった。
その他	<ul style="list-style-type: none">・ 養鶏業の臭気対策

など

【8．市民、事業者、行政が行うべき取組・行動について】 本編 p.28

A．地球温暖化対策の推進に向け、市民、事業者、行政がどのような取組・行動を行うべきか、お考えがあれば自由に記載してください。

B．ごみの減量を一層推進するために、市民、事業者、行政がどのような取組・行動を行うべきか、お考えがあれば自由に記載してください。

回答は、本編 p.28～p.32 をご覧ください。

2. 事業者向けアンケート結果（本編 p.33～）

【1. 事業活動における環境管理について】 本編 p.34

事業活動における環境管理に関連する以下の取組について、それぞれ、①～④の選択肢からあてはまるものを選んで をつけてください。

< 選択肢 >

- ①取組を行っている 取組を検討したい（している） 取り組みたいと思うが難しい
 取り組む予定はない

（環境管理のための取組）

全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ ISO14001 の認証をうけている。 ・ ISO14001 の認証を取得しており、以下の取組を進めている。 地球温暖化防止 大気、水、土壌環境の保全 産業廃棄物発生量の削減 環境負荷低減のための製品導入、市場推進
取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ LED 照明、全館空調 ・ カーボンニュートラル ・ 規格外製品の再利用 ・ 電気使用量の削減 ・ 電力使用量の管理、廃棄プラスチック量の管理 ・ 節電 ペーパーレス化の推進 ・ 主成分を石灰石とした減プラ容器の採用 ・ 会員企業の規格外製品のリサイクルを昭和 60 年より実施。リサイクル製品の約 90% は、自社（会員各社）製品の原料で使用。残りも再生資材として販売している。 ・ 職員一人一人の省エネ運動

など

【2. ごみ問題解決のための行動について】 本編 p.35

ごみの発生抑制・有効活用を進め、地域のごみ問題を解決するための取組として、以下に示すものについて、それぞれ①～④の選択肢からあてはまるものを選んで○をつけてください。

< 選択肢 >

- ①取組を行っている 取組を検討したい(している) 取り組みたいと思うが難しい
 取り組む予定はない

(ごみの発生抑制・有効活用及びごみ問題解決のための取組)

発生抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペーパーレス化の推進 ・ 書類の電子化を進め、極力紙を使用しないよう社内に呼びかけている。 ・ 歩留まりの削減
有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再資源場所への搬入 ・ OA 古紙のリサイクル徹底 ・ 廃棄商品の飼料化を検討中。 ・ 事業所で分別を行い、お菓子の袋等も生ごみを入れて使っている。
意識	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみ問題はひとりひとりの意識の問題であり、ひとりのはじめの一步を大事に行うことが必要だと思う。他人事ではない。すべてが自分たちにもどってくることを思い行動することが大切だと思います。

など

(「取り組みたいと思うが難しい」または「取り組む予定はない」と回答した理由)

2. 環境美化活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所周辺の環境美化活動を会社側から指示して行うことは難しい。
3. 廃棄物の発生抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症の廃棄物など、特殊な物品を扱っていることもあり、有効活用などは難しい面がある。
4. 簡易包装	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製品の梱包は取引先から梱包仕様を指定されている。 ・ 商品・製品を提供していないため。

など

【3. 地球温暖化防止のための行動について】 本編 p.36

二酸化炭素などの温室効果ガス排出削減、省エネルギーのための取組として、次に示すものについて、それぞれ①～④の選択肢からあてはまるものを選んで○をつけてください。

< 選択肢 >

- ①取組を行っている 取組を検討したい(している) 取り組みたいと思うが難しい
 取り組む予定はない

(温室効果ガス排出削減、省エネルギーのための取組)

設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 照明設備の LED 化 ・ LED 化、CO2 フリー電力の活用 ・ ガス調理器を電気へ変更予定。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 減プラ容器の採用
取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電力/ガス/蒸気などの使用量低減に向けた取組みを継続的に実施している。 ・ (設問 1) 電気代金の値上がりと共に節電を心掛ける。 エアコンの温度を控えめにし、ファン等の利用をする。 ・ 季節に応じて空調管理を集中管理することで省エネを図っている。 ・ 夏季には便座の電源をオフにするなどの細かい節電も実施。

など

(「取り組みたいと思うが難しい」または「取り組む予定はない」と回答した設問に対して、どのような状況に変わったら取り組めるか、取り組むことを検討するか)

全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財政的支援がないと、環境面へ投資をできるほどの財政状況ではない。 ・ 365 日、24 時間利用者がいるため実施困難 (節電、再エネ導入)。
2. 再生可能エネルギー導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光発電の場所がない。 ・ 屋根がスレートのため、太陽光パネルは難しいと言われた。 ・ 導入コストが高いため、その補助が必要。 ・ 費用対効果がある場合に検討する。

など

【5．今後の高浜市の環境について】 本編 p.38

高浜市の環境が今後どうなることを望みますか。以下から最大3つまで選択して をつけてください。

その他回答はありませんでした。

【6．高浜市へ期待することについて】 本編 p.39

環境に関連して、市へ期待することを、以下から最大3つまで選択して をつけてください。

(自由回答)

- ・ 下水道の全域整備してほしい。駅周辺など市の玄関口となるエリアの環境美化を期待したいです。
- ・ リサイクル資材のより一層の活用

【7．市民、事業者、行政が行うべき取組・行動について】 本編 p.40

A．地球温暖化対策の推進に向け、市民、事業者、行政がどのような取組・行動を行うべきか、お考えがあれば自由に記載してください。

B．ごみの減量を一層推進するために、市民、事業者、行政がどのような取組・行動を行うべきか、お考えがあれば自由に記載してください。

回答は、本編 p.40～p.41 をご覧ください。

3．小学生向けアンケート（本編 p.42～）

設問及び回答は、本編 p.43～p.47 をご覧ください。

資料5 太陽光発電設備導入スケジュール

国の方針：2030年に設置可能な建築物の50%、2040年に100%の導入を目指す

★ 太陽光発電設備導入時期

No.	施設名	公共施設 推進 プラン	避難所 指定	建築物名称	建築年度	2022年度	最適規模	自家消費量	再エネ 自給率	設置済み	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	2036年	2037年	2038年	2039年	2040年	
						電力使用量 kWh	太陽光発電 出力 kW				kWh	%	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年	令和16年	令和17年	令和18年	令和19年	令和20年	令和21年
1	高浜ふれあいプラザ	○	-	本棟	1976	18,267	6.0	5,823	32.0				★															
2	高取ふれあいプラザ	○	○	本棟	1995	38,740	10.0	8,834	23.0				★															
3	高浜南部ふれあいプラザ	○	-	本棟	1979	67,078	5.8	5,686	31.0		★																	
4	高浜南部第2ふれあいプラザ	○	○	本棟	1981	24,543	6.0	5,592	31.0								★											
5	高浜エコハウス	○	-	本棟	2008	30,097	5.0	4,419	15.0	★																		
6	いきいき広場	○	-	本棟	1996	406,940	15.8	17,959	4.0						★													
7	高浜南部幼稚園	○	-	中央棟	1978	16,502	5.0	3,998	24.0					★														
8	東海会館	○	○	本棟	1986	23,187	5.0	4,691	20.0					★														
9	吉浜幼稚園	○	○	東棟	1972	23,187	5.0	4,714	20.0											★								
10	みどり学園・いちごプラザ	○	-	北棟	1975	30,867	4.0	3,867	17.0																	★		
11	吉浜交流館	○	○	本棟	1969	30,915	11.6	10,951	35.0								★											
12	かわら美術館・図書館	○	-	本棟	1993	363,416	13.3	16,278	4.0																	★		
13	女性文化センター	○	○	本棟	1994	29,824	5.0	5,859	19.0											★								
14	高浜配水場（敷地全体）	-	-	管理棟	1968	428,120	18.3	20,744	6.0																			
				RCタンク	1969																						★	
15	高浜小学校	○	○	校舎	2018	497,204	140.8	131,302	27.0	★																		
				メインアリーナ	2020																						★	
				サブアリーナ	2020																						★	
				児童センター	2020																						★	
16	地域交流施設																											
17	高浜児童センター																											
18	高取小学校	○	○	南校舎	1965	111,406	40.0	36,920	30.0																	★		
19	港小学校	○	○	校舎	1976	80,711	25.0	23,008	29.0																	★		
				特別教室棟	2021																					★		
20	吉浜小学校	○	○	北校舎	1969	134,469	50.0	44,941	32.0																	★		
				南校舎	1977																					★		
				特別教室棟	2013																					★		
21	翼小学校	○	○	校舎	2001	196,353	60.0	59,145	30.0	★																		
				体育館	2001																						★	
22	高浜中学校	○	○	北校舎	1971	180,879	60.0	55,783	31.0							★												
				南校舎	1969																						★	
23	南中学校	○	○	北校舎	1978	98,886	29.2	28,560	29.0								★											
				南校舎	1977																						★	
24	吉浜北部保育園	○	○	本棟	1977	-	-	-	-																			
25	市役所	○	-	本棟	2016	-	-	-	-	★																		
合計	設置可能な建築物 33棟					2,831,591	521	499,074																				
太陽光発電設備導入数(積算)											4	5	8	13	15	17	19	23	23	23	24	25	28	28	30	30	30	33
太陽光発電設備施設導入割合(積算)											12.1%	15.2%	24.2%	39.4%	45.5%	51.5%	57.6%	69.7%	69.7%	69.7%	72.7%	75.8%	84.8%	84.8%	90.9%	90.9%	90.9%	100%

※各施設の太陽光発電設備の導入時期は、補助金の採決及び工期によって変動が生じます。

資料6 用語集

用語	説明	掲載頁	
英 数 字	2R(にアール) 3R(さんアール) 5R(ごアール)	2Rは、リデュース(Reduce:発生抑制)、リユース(Reuse:再使用)の取組です。3Rは2Rの取組にリサイクル(Recycle:再利用)を加えたものです。5Rではさらに、リフューズ(Refuse:購入拒否)、リペア(Repair:修理)が加わります。	p.10、29、46、50、56
	3010(さんまるいちまる)運動	宴会の時の食品ロスを減らすためのキャンペーン。乾杯からの30分間と、お開き前の10分間は自分の席で料理を楽しみ、食べ残しを減らす取組です。	p.56
	AI(エーアイ) オンデマンド バス	路線バスとタクシーの中間的な位置にある交通機関。利用者の事前予約により、AI(人工知能)がリアルタイムで最適配車を行います。	p.53、84
	BCP (ビーシーピー)	事業継続計画。企業などが自然災害などの緊急事態に遭遇した場合に、顧客・従業員の生命・財産を守るとともに、企業にとって中核となる事業を継続あるいは早期に復旧させるための計画です。	p.86
	DX (ディーエックス)	デジタルトランスフォーメーション。企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、製品やサービス、ビジネスモデル、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立することをいいます。	p.82
	EV (イービー)	電気自動車。自宅や充電スタンドなどでバッテリーを充電し、モーターを動力として走行する自動車です。	p.7、24、40、53、84、85
	FCV (エフシービー)	燃料電池自動車。燃料電池で水素と酸素の化学反応によって発電し、モーターを動力として走行する自動車です。	p.53、84
	ICT (アイシーティ)	情報通信技術。情報処理だけではなく、インターネットなどの通信技術を利用したサービスなどの総称です。	p.81

用語	説明	掲載頁	
英 数 字	IPCC (アイピーシー シー)	気候変動に関する政府間パネル。世界気象機関(WMO)及び国連環境計画(UNEP)により設立された政府間組織です。各国政府の気候変動に関する政策の基礎情報として、定期的に報告書を作成し、気候変動に関する最新の科学的知見の評価を提供しています。	p.7、70-74
	LED (エルイーデー ー)	発光ダイオード。半導体の一種で、寿命が長い、消費電力が少ない、応答が早いなどの特長をもっています。	p.24、46、81
	PHV (ピーエイチブ イ)	プラグインハイブリッド自動車。ハイブリッド自動車は複数の動力を組み合わせて動く自動車のことで、主にガソリンを燃料としたエンジンと、電気で回転させるモーターとを組み合わせて走行する自動車をいいます。PHVは、家庭用電源などから電気を充電することができるハイブリッド自動車です。	p.24、53、84
	SNS (エスエヌエ ス)	ソーシャルネットワーキングサービス。登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービスです。	p.61、62、 66-68、84、87
	SSP(エスエス ピー)シナリオ	共有社会経済経路シナリオ。気候変動の予測において、将来の社会経済の発展の傾向やさまざまな可能性・条件を考慮して、気候変動がどのように進行するか検討したものです。	p.72
	ZEB/ZEH (ゼブ/ ゼッチ)	それぞれネット・ゼロ・エネルギー・ビル、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの略称で、年間のエネルギー収支がゼロになるビルや家をいいます。ZEB、ZEHには国が定める基準があり、再生可能エネルギーによりエネルギーを作り出すだけでなく、建物の省エネ性能も優れていることが条件となります。	p.53、81、84、 85
あ	暑さ指数	熱中症を予防することを目的とした指標。人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した指標で、湿度、日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、気温により評価されます。	p.86

用語	説明	掲載頁	
あ	ウォームビズ	冬季の暖房中の室温が過度にならないよう、暖房時の室温が20 程度で快適に過ごすことができるような衣食住を推奨する取組。	p.81、82
	温室効果ガス	大気中で、太陽からの赤外線の一部を吸収する性質がある気体。二酸化炭素のほか、メタン、フロン類などがあります。	p.3、4、7-9、24、36、50、52、53、69、70、74-76、78-81、83-85
か	カーボンニュートラル	二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、植林、森林管理などによる吸収量を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。	p.1、3、4、7、8、54、75、76、77、80、86
	海洋プラスチック	ポイ捨てや放置されたプラスチックごみが、河川などを通じて海へ流出し、海岸や海底にたまったり、水中を浮遊したりしているもの。プラスチックを含む海洋ごみは、生態系を含めた海洋環境の悪化や景観、漁業や観光への悪影響など、世界的にさまざまな問題を引き起こしています。	p.11、21、43
	外来生物	海外から我が国に導入されることにより、その本来の生息地または生育地の外に存することとなる生物。何らかの理由で自然界に逃げ出し、もともとその地域にいる生物や人間の健康、農林水産業などに被害を及ぼすことがあります。	p.64
	化石燃料	石炭、石油、天然ガスなど、燃料として用いられる動植物の化石をいいます。	p.8、69、73、80、85
	環境基準	人の健康の保護及び生活環境の保全のうえで維持されることが望ましい基準として、大気、水、土壌、騒音をどの程度に保つことを目標に施策を実施していくのかという目標を定めたもの。	p.11、13、14、15
	拠点回収	市が主体となり、施設などに拠点を設置して行う資源回収。	p.50、58
	クールビズ	夏季に過度なエアコン利用を控え、28 程度の適正な室温で過ごすことができるような衣食住を推奨する取組。	p.81、82

用語	説明	掲載頁
か 光化学オキシ ダント	工場の煙や自動車の排気ガスなどに含まれている窒素酸化物や炭化水素が、太陽からの紫外線を受けることで作られる有害物質。大気中の濃度が高くなると、目、のどなどに健康被害が生じる可能性があります。	p.11、14
さ 再生可能エネ ルギー設備	太陽光、風力など、非化石由来で永続的に利用できるエネルギー源を利用する設備。太陽光発電設備、風力発電、水力発電、バイオマス発電などがあります。家庭用の設備では、太陽熱温水器、地中熱ヒートポンプなども該当します。	p.8、24、27、39、 83
産業革命	18世紀の後半にイギリスで起きた、機械と蒸気機関を用いた大規模な工場制度の普及による産業の変革。産業革命により、石油、石炭や天然ガスなどの化石燃料がエネルギー源として使用されるようになり、二酸化炭素が大量に大気中に放出されることとなりました。	p.70、74
自治体排出量 カルテ	環境省が地方公共団体の温室効果ガス(二酸化炭素)排出量に関する情報を包括的に整理し公表するもの。	p.8、9、78
食品ロス	本来食べられるのに廃棄される食品。食べられずに廃棄される「食べ残し」、賞味期限切れ等により手つかずのまま廃棄される「直接廃棄」、厚くむきすぎた野菜の皮などの可食部分の「過剰除去」の3つに大きく分類されます。	p.21、43、46、 56、68
集団回収	町内会や子ども会などの団体が回収日時、場所などを決めて行う資源回収活動。	p.23、50、58
循環型社会	廃棄物等の発生抑制、循環資源の循環的な利用及び適正な処分が確保されることによって、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会。	49、50、55
水素社会	水素が日常生活や産業活動で普遍的に利用される社会。	p.4

用語	説明	掲載頁	
さ	生物化学的酸素要求量 (BOD)	生物が水中にある有機物を分解するのに必要な酸素の量。河川の汚染度の指標となります。	p.15
	生物多様性	地球上の生きものは全て直接的、間接的に支えあって生きています。生きものたちの豊かな個性とつながりを生物多様性といいます。生物多様性条約では、生態系（森林や里地里山など）の多様性、種（動植物、微生物など）の多様性、遺伝子の多様性という3つのレベルで多様性があるとしています。	p.6、10、17、50、64-66
	水平リサイクル	使用済みペットボトルを原料として新たなペットボトルに再生すること。ボトルtoボトルとも呼ばれます。	p.58
	スマートハウス	太陽光発電などの再生可能エネルギー設備を備え、ICTなどの先進技術を活用してエネルギーが効率的に利用されるとともに、暮らしをより便利で快適にすることを目指した住宅。	p.52、53、81、84
	ゼロエミッション自動車	走行時に二酸化炭素などの排出ガスを出さないEVやFCVなどの自動車。	p.4
た	太陽熱利用機器	太陽の熱を使って温水や温風を作り、給湯や冷暖房に利用する機器。	p.53、83
	脱炭素社会	二酸化炭素の排出量について、植林、森林管理などによる吸収量を差し引いて、実質的に排出量ゼロが達成された社会。	p.1、7、49、50、52、59、80
	窒素酸化物	物が高い温度で燃えたときに、空気中の窒素と酸素が結びついて発生する物質。大気中の濃度が高くなると、人の呼吸器に悪い影響を与えます。工場、火力発電所、自動車などさまざまな原因により発生します。	p.14
は	バイオマス	再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源を除いたもの。生ごみ、紙ごみなどの廃棄物系バイオマス、稲わら、林地残材などの未利用バイオマス、さとうきびなどの資源作物に分類されます。	p.59

用語		説明	掲載頁
は	ハザードマップ	自然災害による被害の軽減や防災対策のために、災害の危険がある場所や避難場所の位置などを表示した地図。	p.86
	ビオトープ	本来その地域にすむさまざまな生物が生息できるようにした空間。河川や湿地、草原など、地域の自然を活かしたビオトープが各地で整備されています。家庭などにおいても、庭の池や小さな鉢などで人工的にビオトープを作成することができます。	p.19、64-66
	微小粒子状物質	浮遊粒子状物質のうち、粒子の大きさが2.5 μ m以下の非常に小さな粒子。肺など気道の奥に入りやすく、呼吸器系疾患への影響や肺がんリスクの上昇などが懸念されています。	p.14
	浮遊物質量(SS)	水の濁りの指標であり、水に溶け切らなかった直径2mm以下の小さな粒子の量をいいます。粘土鉱物に由来する微粒子や、動植物プランクトンとその死骸、下水、工場排水等に由来する有機物や金属の沈殿物等が含まれます。	p.15
	浮遊粒子状物質	大気中に存在する粒子状物質のうち、粒子の直径が10 μ m以下の細かな粒子。発生源は多様であり、工場、事業場、自動車などの人工的なものに加え、自然界では土壌の粒子、火山灰なども挙げられます。呼吸器系疾患の原因となります。	p.14
ま	みどりのカーテン	窓や壁のそばに朝顔やゴーヤなどのつる性の植物を植え、ネットにはわせることでカーテン状にしたもの。夏場に窓から入り込む日射を遮り、水分を葉から蒸発させることで、室内を涼しくする効果があります。	p.84、85